4. 運転・作業の仕方

⚠ 危険

運転上の注意

- **不安定な場所や傾斜地に駐車しないでください。**
- **傾斜地や凹凸路面を走行する際には、機体の傾斜角度に注意してください。**

  傾斜警告ランプが点灯・点滅した際には、速やかに傾斜の緩やかな場所へ移動してください。
- **万が一、機体を衝突・転倒させてしまった場合にはすぐにエンジンを停止してください。**

  衝突・転落等によってフロントカバーが変形した際には販売店にご相談ください。

  転倒事故や重傷・死亡事故を起こすことになります。

⚠ 警告

走行前の確認

- **巻頭の「安全にご使用いただくために」を守って使用してください。**
- **発進する前に、周囲の安全を確認してから機体から離れて操作してください。**
- **カバーを外した状態で運転しないでください。**

  事故やけがの原因となります。

走行運転

- **一般道路 (公道) の走行はできません。**
- **一般道路 (公道) および夜間は自動車に乗せて移動してください。**
- **人や物をのせて走行しないでください。**
- **急発進、急制動、急旋回をしないでください。**
- **わき見運転はしないでください。**

  事故の原因となります。

走行中の注意

- **走行中、本機に人や動物が近づかないように注意してください。**
- **回転部や作動部 (クローラー・転輪・デッキ周辺など) に触らないでください。**
- **傾斜地を走行する際は等高線上に走行してください。また、作業者は山側から操作し谷側には人を侵入させないでください。**
- **走行中に異常を感じた場合には前後進 / 旋回レバーから手を離して機体を停止させてください。**

  傾斜地で停止させてもブレーキが作動しますが、前後進 / 旋回レバーから手を離さないとブレーキが作動せずに、機体が下側へ滑りだす恐れがあります。

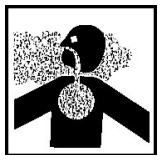
  事故やけがの原因となります。

4-1. エンジンの始動

⚠ 警告

- **エンジンの排出ガスには、有毒な成分が含まれています。屋内など通気の悪い場所ではできるだけ運転しないでください。**
- **車両の移動のためにやむを得ず室内で始動するときは窓や戸を開けてください。**
- **始動後はすぐに室外へ移動してください。室内で暖機や長時間の運転をしないでください。**

  中毒事故の原因となります。



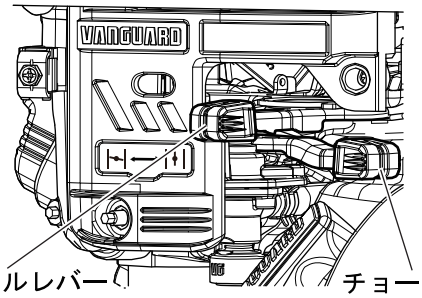
⚠ 注意

- **運転前に周囲の安全を確認してください。**

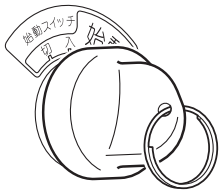
  事故の恐れがあります。

4. 運転・作業の仕方

1. エンジン停止スイッチを「運転」位置に回してください。



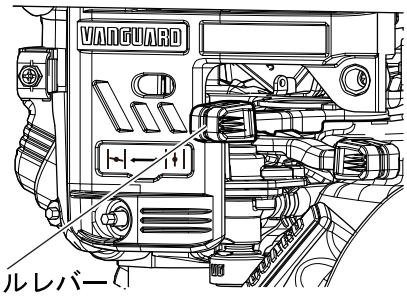
2. アクセルレバーを開いて中間位置にしてください。



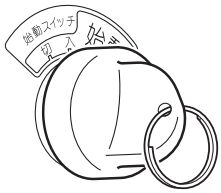
3. スタータスイッチを「始動」位置に回してください。
4. 気温が低い時はチョークレバーを閉じてください。
5. エンジンが始動したら、スタータスイッチから手を離してください。スタータスイッチは自動的に「入」位置に戻ります。
6. チョークレバーを閉じている場合は開いてください。
7. アクセルレバーを全開位置にしてください。

重要
❍ **スタータスイッチを回して10秒以内で始動しないときは、30 秒以上休んでから再び始動操作をしてください。** ❍ **スタータの20秒以上の連続使用は故障の原因となります。** ❍ **エンジン運転中は、スタータスイッチを「始動」位置にしないでください。** ❍ **アクセルレバーは全開でご使用ください。** 発電が行えず、正常に動作しません。 ❍ **12 V 鉛バッテリを外した状態でエンジンを始動しないでください。** 冷却ファンなどのアクセサリーが破損する恐れがあります。

4-2. エンジンの停止



1. アクセルレバーを閉じてエンジンを停止します。



2. スタータスイッチを「切」にして本機の電源を切ります。

⚠ 警告

❍ スタータスイッチおよびエンジン停止スイッチでエンジンを停止させて、アクセルレバーが開いた状態で斜面に停車しないでください。また、作業が終わった後、バッテリ走行や輸送する際には必ずアクセルレバーを閉じてください。

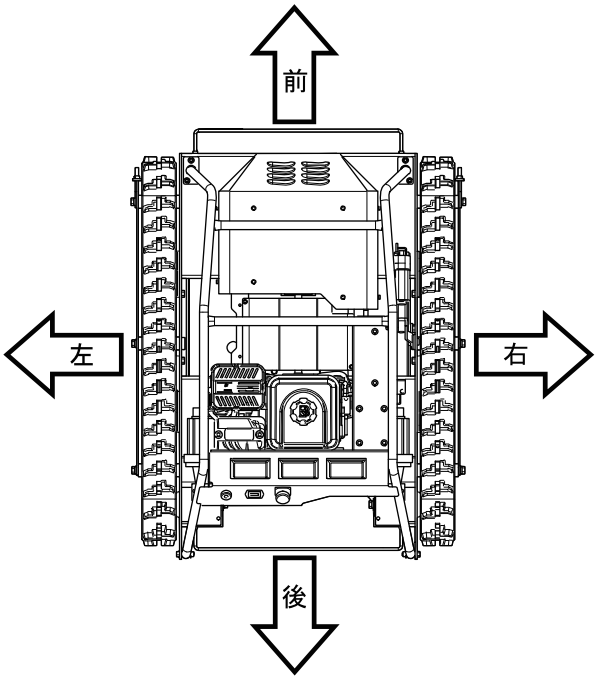
燃料が漏れ、事故や重傷を負う原因となります。

重要

❍ 電源 OFF 後､再び本機の電源を ON にする場合は、5 秒程時間をおいてください。

プロポの通信を開始できない場合があります。

4-3. 走行の仕方



1. 22 ページの《エンジンの始動》に従ってエンジンを始動させてください。
2. プロポの電源スイッチを回して電源を入れてください。
3. プロポの刈刃回転スイッチと正面切替スイッチが「切」になっていることを確認してください。

重要

❍ プロポ電源始動時に正面切替スイッチが「入」の位置にあった場合には、操作ができませんので使用する前に「切」にしてください。

4. プロポのスタートスイッチを押して通信を開始してください。
5. 本機の通信状態ランプが点滅から点灯に変わると操作ができます。
6. 走行速度調整スイッチ・モーターバランス調整スイッチの位置を確認して調整してください。
7. 本機を前後進させる場合には、前後進レバーを操作してください。
8. 本機を旋回させる場合には、前後進レバーを倒しながら旋回レバーを操作してください。
9. 本機をその場で旋回させる場合には、旋回レバーのみを操作してください。

車速および旋回速度の調整は、前後進 / 旋回レバーの倒す量で行います。

⚠ 警告

❍ 本機の操作を始める前には、必ず低速にして前後進 / 旋回レバーの倒し方向と進行方向が合っているかを確認してください。

衝突など、事故や重傷を負う原因となります。

4-4. 草刈作業の仕方

⚠ 危険

❍ **作業範囲内に人を近づけないでください。**
刈取部から石などが飛散して、死亡事故・重傷を起こすことになります。

❍ **デッキ内に手や足を近づけないでください。**
刈刃で死亡事故・重傷を起こすことになります。

⚠ 警告

❍ **作業前に刈刃を点検し、変形や締め付けに緩みがないか確認してください。**
❍ **作業範囲内の石や異物は取り除いてから作業してください。**
❍ **飛散防止カバーを外した状態で作業しないでください。**
❍ **周囲の人や動物、自動車、建物から離れて作業してください。**
❍ **作業中は周囲が見える位置で安全を確認しながら操作してください。**
故障、事故や重傷を負う原因となります。

❍ **マフラーやリコイルカバーなどエンジン周辺に堆積した刈草などは、エンジンを停止してから速やかに取り除いてください。**
火災の原因となります。

⚠ 注意

❍ **使用時は保護眼鏡・長靴・手袋・帽子等の保護具を着用して作業してください。**
5 ページ《安全にご使用いただくために　保護具着用》を参照してください。

❍ **運転中、運転停止後はエンジン周辺が高温になります。**
誤って触ったりすると火傷する恐れがあります。

1. 23 ページ《走行の仕方》に従って機体を操作してください。
2. 刈高調整スイッチを操作し、刈高さを最高にしてください。
3. 刈刃回転スイッチを「入」にすると刈刃状態ランプが 2 秒間点滅後、刈刃が回り出します。刈刃状態ランプが点灯した後に草刈作業を行ってください。
4. 刈高調整スイッチで刈高さを適切に調節してください。
5. 草刈作業が終わった後は、機体を停止させて刈刃回転スイッチを「切」にしてください。
6. 刈高調整スイッチを操作し刈高さを最高にしてください。
7. 22 ページ《エンジンの停止》に従ってエンジンを停止させてください。

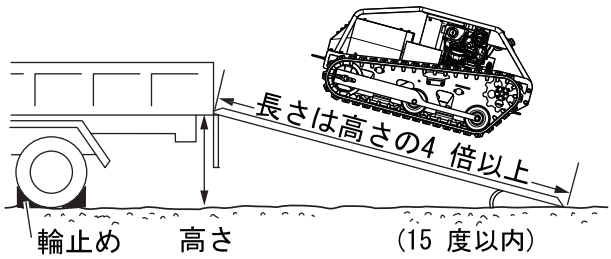
重要

❍ **刈取負荷が大きい場合や石などの異物に衝突した際には、刈刃状態ランプが高速点滅して刈刃と走行が停止します。**
その際には、刈刃回転スイッチを「切」にすると走行可能になります。
再度草刈作業をする際には、刈取高さを上げる、あるいは走行速度を下げて作業してください。

4-5. 積み下ろし

⚠ 警告

自動車に積み下ろしをするときは、次のことを守ってください。

- **障害物のない平坦で硬い場所で積み下ろしをする。**
- **周囲を確認し、本機の周りには人を近づけない。**
- **自動車は動き出さないようにエンジンを停止し、サイドブレーキを引いて「車止め」をする。**
- **アユミ板は十分な強度(1 枚当たり耐荷重 200 kg 以上)、幅(30 cm 以上)、長さ(高さの 4 倍以上)、滑り止め、フックがあるものを使用する。**
- **アユミ板は本機のクローラー幅に合わせ自動車の荷台と平行に段差のないように掛け、横ずれしないようにフックを荷台に確実にかける。**
- **積み下ろしするときは刈高さを最高にして、進行方向を確認してから低速で行う。**
- **アユミ板上で進路変更しない。**
- **本機を輸送する際には必ず電源・エンジンを停止させてアクセルレバーは閉じる。**

転倒・転落などの事故の原因となります。